

埼玉県議会議員

県政報告

令和6年(2024年)夏号

阿左美けんじ

A S A M I

K E N J I

URL <https://asami-kenji.com/>

■県議会6月定例会報告

発行：埼玉県議会 自由民主党議員団
埼玉県議会議員 阿左美健司
〒368-0033 秩父市野坂町1-3-1 野坂ビル3F
TEL.0494-26-7435 FAX.0494-26-7434県議会6月
定例会報告不適切なヤードを
規制するための条例を
提案・議決

県議会6月定例会は6月17日に開会し、地方税法等の一部改正に伴う条例の改正をはじめとする知事提出議案に加え、私ども自民党議員団が提出した不適切ヤードを規制するための「埼玉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例」等を議決し、7月5日に閉会しました。



6月26日一般質問に立ちました

一般質問報告

一般質問に登壇し8項目15件について質問・提言しました

1 第75回全国植樹祭について

(1) 機運醸成のための取り組みについて

『第75回全国植樹祭』を絶対に成功させるため、機運醸成を図る取り組みと、大会終了後も、県民が森林やみどりに関心を持ち続けるための取り組みが重要と提言。

知事は「『苗木のスクールステイ』や『どこでも植樹祭』と銘打ちイベントを実施し、6月15日には1年前記念イベントを行った。今後はカウントダウンイベントなどを予定。

県全体で盛り上げる」と答弁。また、大会後は「未来を担うこどもたち、県内企業・団体・ボランティア、川でつながる山村と都市の市町村が、森林を守り育てる活動に関わるよう、より一層機運醸成を図っていききたい」と答弁。



6月15日にイオンレイクタウン(越谷市)で開催された「全国植樹祭1年前記念イベント」にて

(2) 全国植樹祭の会場となった秩父市の施設の返還について

秩父市から借り受けた秩父ミュージアムパークのテニスコートや駐車場、旧ゴルフコース等は、利用された後、どのような配慮をもって秩父市へ返還されるのか質問。

知事は「原則として現状復帰する。その際、記念碑の設置、記念植樹の様子を解説したパネルや大会で用いた木製ベンチを配置する予定。全国植樹祭開催の思い出に触れることができる場となるようにしたい」と答弁。

2 林業・木材産業の継承について

埼玉県の林業・木材産業が受け継がれていくためには、担い手の確保・育成と木に関わる仕事が職業として選ばれる環境づくりを進める必要がある。担い手不足解消のための県の考えを質問。

知事は「労働者の安全確保や負担軽減につながるスマート林業等々、労働環境の改善を図っている。また、ジェンダー主流化の観点も踏まえた上で、安全で働きやすい職場環境づくりを進めている」「経営が安定し、魅力ある林業・木材産業とするため、川上から川下までの県産木材の需給関係者が連携し、新たな流通体制の構築を進めている」と説明。さらに「全国植樹祭の開催は絶好の機会。本県の森林を次の世代につなぐとともに、林業・木材産業が将来に引き継がれるよう、引き続き必要な支援を行っていく」と答弁。

3 県内水道の震災対策について

水道施設の耐震化の取組状況と国の補助金を受けるための県の支援、断水が生じた場合の応急給水や復旧に向けた体制について質問。

保健医療部長は「浄水施設の耐震化率は、全国平均を上回っている」と説明。「耐震化事業に関する国の補助金は厳しい条件があるため、条件緩和や補助率の引上げについて、要望活動を行っている」と説明。

断水が生じた場合には「各市町村が指定する給水所で緊急時用の貯水タンクや災害用井戸などから水を住民等へ提供する。県内事業者が保有する約80台の給水車を活用し、断水地域に届けることも可能」「復旧作業は、県内の水道関連企業団体と協定を締結。このほか、公益社団法人日本水道協会による広域的な相互支援体制も整備され、被災規模に応じて全国各地から支援を受けられる」と答弁。

令和6年度の所属委員会

文教委員会(委員長)、地方創生・行財政改革特別委員会

阿左美けんじの活動報告は
ホームページでもご覧になれます。

4 埼玉県におけるひきこもり支援について

(1) ひきこもりの相談支援体制について

『秩父地域居場所づくりサポートセンター』が4月1日にオープンし、秩父地域ではひきこもりに悩む当事者や家族からの相談に応じる体制づくりが進んでいる。当事者や家族の方が、身近な場所で安心して相談や支援が受けられるように、体制を構築すべきと提言。

保健医療部長は「県では、ひきこもり相談サポートセンターの運営やひきこもり訪問サポート事業などを行い、広域的に当事者や家族の相談に対応している。また、民間支援団体の情報提供、担当者研修会や連絡会議などを開催し、情報交換等もを行っている」と説明。「『秩父地域居場所づくりサポートセンター』は、1市4町が広域で取り組む好事例で県内市町村に周知していきたい」と答弁。

(2) ひきこもりの就労支援について

ひきこもりの方の就労には、当事者と支援する団体との情報交換など、連携の強化が必要。県の取り組みを質問。

産業労働部長は「『若者自立支援センター埼玉』では、多くの方の就職や就職活動につなげている。今年度は、メタバースを活用した職場見学や交流会などのサービス提供を開始する」と答弁。

5 秩父・県北地域の観光振興について



▲渋沢栄一めぐり旅パンフレットの表紙

過疎や人口減少が進む中、観光体験を通じて、移住が促進されるのではないかと考える。渋沢栄一翁の新しい1万円札が発行されることも良いきっかけ。観光振興に注力すべきと提言。

産業労働部長は「観光が果たす役割は重要。本年5月に設置された『住むなら埼玉』官民連携協議会に、県の産業労働部も参画している」[現在『渋沢栄一めぐり旅』と題した動画やパンフレット等で、県内観光周遊を促している。今後とも人口減少対策という観点からも、観光客を呼び込める効果的な取り組みの推進に努める]と答弁。

6 障がい者の芸術活動に対する支援について

地元の横瀬町に障がい者が芸術活動を行う生活介護事業所『アーティストテラス634(ムサシ)』が開業。県民が障がい者アート作品に触れたり、交流する機会を県がさらに創出していくべきと提言。

福祉部長は「『障害者アート企画展』は、毎年、近代美術館で作品を展示。『アートオンライン美術館』では、動画を掲載し工夫している。埼玉県美術展覧会では障害者アートのコーナーを設けた。今後、県民との交流が深まる企画を取り入れる」と答弁。

7 ニホンジカの獣害対策について

ニホンジカの個体数の現状、獣害対策と担い手育成の取り組み、捕獲されたニホンジカのジビエ利用や処理について質問。

環境部長は「ニホンジカの推定個体数はピーク時から約4,000頭減少し、令和4年度は10,174頭、令和8年度までに約4,500頭とする目標に向け、捕獲の担い手の確保・育成に継続して取り組む」と説明。

処理状況は「令和5年度捕獲頭数2,577頭のうち、ジビエでの利用は約7%にあたる184頭。その他、約57%が埋設処理、約36%が焼却処理。地元と連携を図り適切な処理が行われるよう取り組む」と答弁。

8 地元問題

(1) 秩父地域の道路整備について

一般国道140号大滝トンネルや長尾根バイパスの事業推進のほか、一般国道299号横瀬・秩父・小鹿野間のバイパス、秩父地域と比企地域を結ぶ定峰峠や本庄児玉地域を結ぶ間瀬峠のトンネル化などは、秩父地域の安心・安全の確保、持続的な発展のために必要。秩父地域の道路整備をどう進めていくのか質問。

県土整備部長は「大滝トンネルは本年3月にトンネルが貫通した。早期完成に向け、整備を進めている。また、県道長瀬玉淀自然公園線など26か所でも、バイパスや現道拡幅などの整備を実施している。今後は、現在進めている事業の着実な推進を第一に、道路ネットワークの重要性の観点や地元の意見なども踏まえて、取り組んでいく」と答弁。



大滝トンネル貫通式にて(5月15日)

(2) 小鹿野町国道299号千束峠区間の整備について

現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。

県土整備部長は「令和6年度は、地元説明会を開催し、その後、詳細な設計・調査を進めていく」と答弁。

(3) 横瀬町県道熊谷小川秩父線の歩道整備について

下語歌橋付近の橋の架け換え工事や歩道整備工事について、現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。

県土整備部長は「下語歌橋の前後区間を除く378m区間で、歩道整備が完了した。令和6年度は、下語歌橋の架け換え工事を行い、令和7年度末の完成に向け工事を進める」と答弁。

(4) 皆野町県道皆野両神荒川線の歩道整備について

用地買収が完了している箇所工事の見通しについて質問。

県土整備部長は「用地買収率は71%、栗谷瀬橋から280m区間の歩道整備が完了。町道との交差点付近は、令和6年度に工事を行う。引き続き残る用地の取得を進め、用地がまとまって確保されたところから、順次、工事を進める」と答弁。

(5) 長瀬町野上下郷の宿本地区の急傾斜地崩壊対策について

宿本地区の急傾斜地崩壊対策事業の現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。

県土整備部長は「現在、用地測量を実施している。令和6年度は測量が完了次第、土地所有者から寄付を受けた上で、落石防護柵などの対策工事を進める」と答弁。

(6) 東秩父村の浄蓮寺沢の土石流対策について

土砂災害のリスクを低減させるため、早急に浄蓮寺沢の工事が必要。現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。

県土整備部長は「これまでに地質調査、詳細設計及び用地測量が完了。令和6年度は用地取得を進め、西側の渓流において砂防えん堤の工事を実施する」と答弁。

地域の発展と安心・安全の実現に向け全力



皆野町金沢地区つつじ祭りにて(5月5日)



小鹿野町長留写真展にて(4月14日)



小鹿野町両神薄大塩野祭りにて(5月4日)